



オスプレイ欠陥明白

防衛省などに日本平和委

クラシチの不景氣による墜落事故が発生したオスプレイについて日本平和委員会は一日、衆院第一議員会館で防衛・外務両省に安全高度以下の飛行を認めた日本合意撤回、オスプレイの飛行中止・撤去を要請しました。

わが「日米地位協定の抜本的改定」⑤飛行中止、佐賀空港への配備停止、米軍と自衛隊の全てのオペレーションの撤去などを求めました。

参加者からは「飛行
な飛行を日本全国巡回して
金で勝手に決めるのが好
おかしい」「三日間飛行して
で訓練どころか、興味
の山震れでオーストリア
が60歳で飛行すれば、
ハンククライダーの練
習場を廻上しなけれ
ばならない。観光で
影響があり、やめて油
っこ」「100%安全で
といえながら飛行は
しないとは認められが
こ」など批判が相次ぎ
あつた。

最低高度60メートル撤回 飛行中止・撤去を

米海兵隊のMV-22オスプレイの配備や訓練に対する反対して活動する各地の平和委員会などが参加。千坂純事務局長は、クラッシュの不真合で米軍は今年2月に飛行時間制限と関連部品の交換の措置を取っただけで、根本的な原因究明や対策がされていないとして「オスプレイの危険性は明白であり、飛行することは許されない」と指摘。①最低高度600メートルの撤回②米軍への国際法の遵守義務

ふの色の巡回美展
への国内法の順守義務